

2020年3月期 決算説明資料

2020年5月12日

日本ライフライン株式会社

1. 2020年3月期 決算概要
2. 販売状況および今後の見通し
3. 新型コロナウイルスによる影響について



1. 2020年3月期 決算概要

常務取締役管理本部長

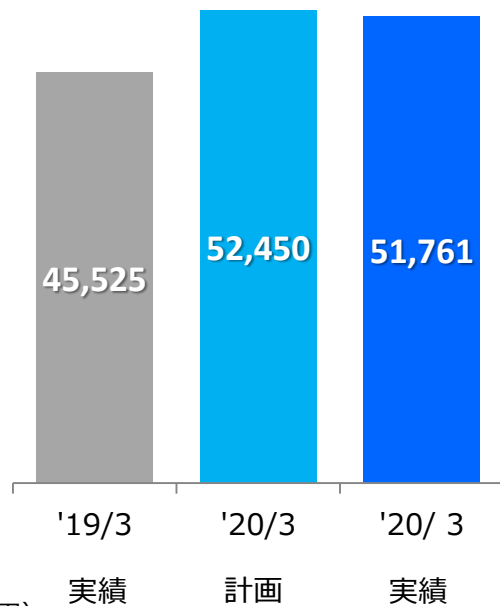
高橋 省悟

- BSC社*製CRM関連商品の寄与により、保険償還価格引下げ、外科関連の一部商品の販売終了を吸収し、二桁増収
- 売上総利益率の低下、販管費の増加により営業利益は前期水準に留まる
- 当期純利益は税額控除等の適用により前期、計画をともに上回る

売上高

対前期 +13.7%

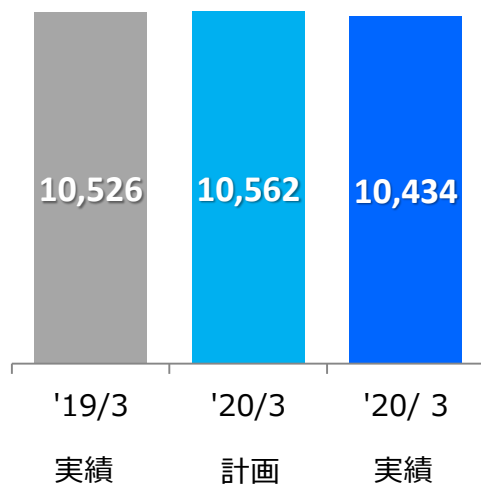
対計画 △1.3%



営業利益

対前期 △0.9%

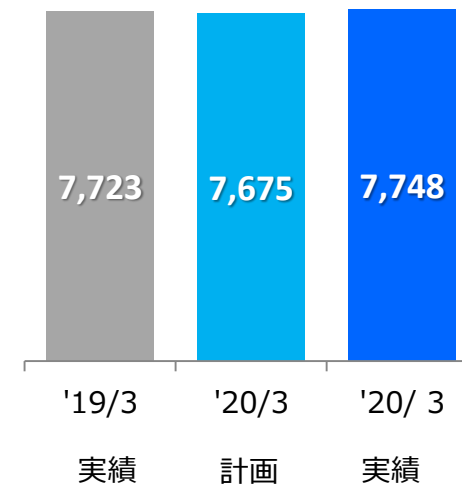
対計画 △1.2%



親会社株主に帰属する 当期純利益

対前期 +0.3%

対計画 +1.0%



(百万円)

- 仕入商品の伸長、保険償還価格引下げ等により、売上総利益率は低下
- 昨年8月までの先行販売期間中はS-ICD*¹の利益貢献が限定的
- BSJ*²社に対する営業支援金、契約金の償却費用等の販管費が増加

(百万円)	2019/3期 実績	2020/3期 計画 (‘19/11/5発表)	2020/3期 実績	前期比	計画比
売上高	45,525	52,450	51,761	+13.7%	△1.3%
売上総利益	27,822	29,592	29,191	+4.9%	△1.4%
売上総利益率	61.1%	56.4%	56.4%	△4.7pt	0.0pt
営業利益	10,526	10,562	10,434	△0.9%	△1.2%
営業利益率	23.1%	20.1%	20.2%	△2.9pt	+0.1pt
経常利益	10,808	10,784	10,425	△3.5%	△3.3%
経常利益率	23.7%	20.6%	20.1%	△3.6pt	△0.5pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,723	7,675	7,748	+0.3%	+1.0%
当期純利益率	17.0%	14.6%	15.0%	△2.0pt	+0.4pt

BSC社製CRM関連商品の急速な販売拡大

- 2019年4月のS-ICD先行販売開始に続き、9月から全CRM関連商品を販売開始
- 頻脈治療領域の商品群が寄与し、売上高が倍増

自社製品が引き続き堅調に推移

- 心房細動（AF）関連製品が症例数の増加を受け伸長
- 外科関連ではオープンステントグラフト、人工血管が増加

新領域の開拓、海外展開の進捗

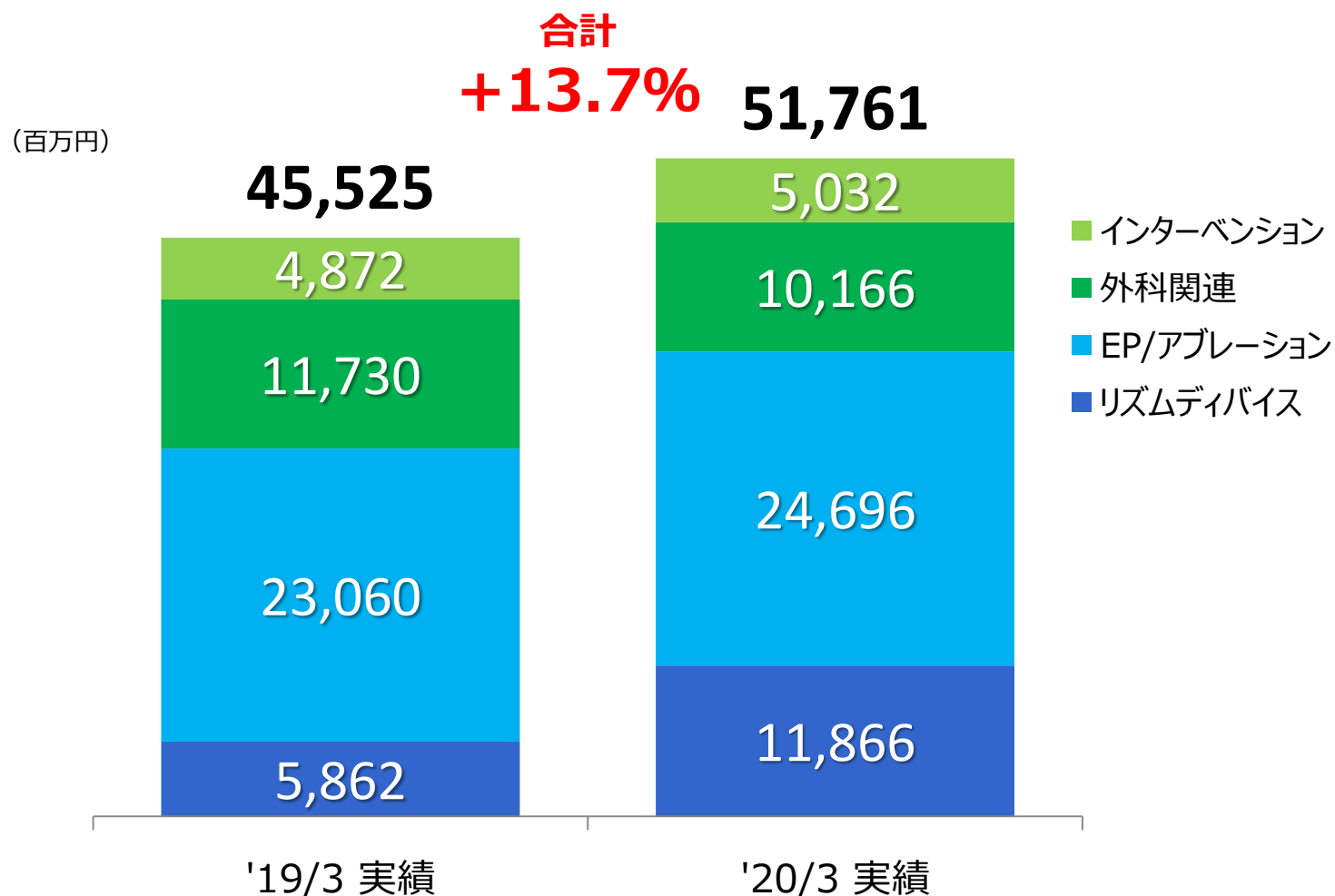
- 肝癌治療用ラジオ波焼灼システムの2019年12月販売開始、消化器領域を開拓
- 北米へのEPカテーテルの半完成品の輸出を開始、韓国に子会社を設立

新型コロナウイルスによる影響

- 3月下旬より国内一部施設での症例数が減少し、'20/3期業績へも影響

マイナス要因による影響*を吸収し、62億円の大増収

*保険償還価格引下げ（約△8億円）、外科関連一部商品の販売終了（約△22億円）



リズムデバイス 対前期 +102.4%

- ペースメーカー関連は競争力あるBSC社商品により急速に販売数量を伸ばす
- ICD関連も堅調なS-ICDに加え、高性能なICD、CRT-Dのフルラインナップによりシェア獲得が進む

EP/アブレーション 対前期 +7.1%

- BeeATをはじめとしたAF関連製品が、症例数の増加を背景に堅調に推移
- 一般的なEPカテーテルは競合製品の影響等により販売数量が微減も、食道温モニタリングカテーテルは概ね前期の水準を維持
- HeartLightは販売数量が増加、引き続き新たな施設の開拓に努める

外科関連 対前期 Δ 13.3%

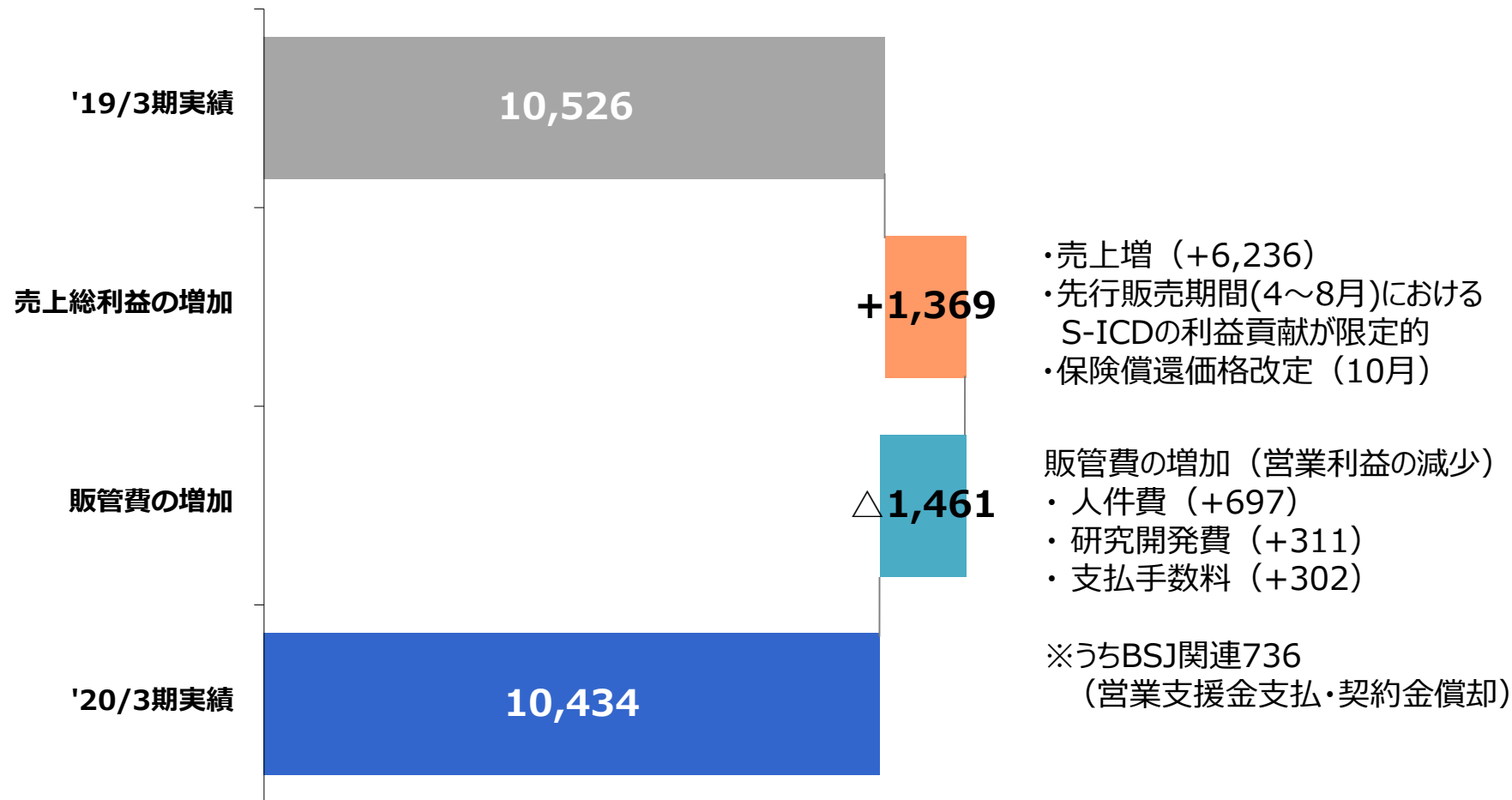
- オープンステントグラフトの販売数量が引き続き二桁で増加
- 2019年3月の胸部用ステントグラフト、同年5月の人工心臓弁関連商品の取扱い終了を受け減収

インターベンション 対前期 +3.3%

- 薬剤溶出型冠動脈ステント「Orsiro」は海外での良好な臨床試験結果を訴求、国内臨床研究等の取り組みにより売上高が伸長
- 大腸用ステントに加え、自社技術を応用し開発した肝癌治療用ラジオ波焼灼システム「arfa」を2019年12月に上市

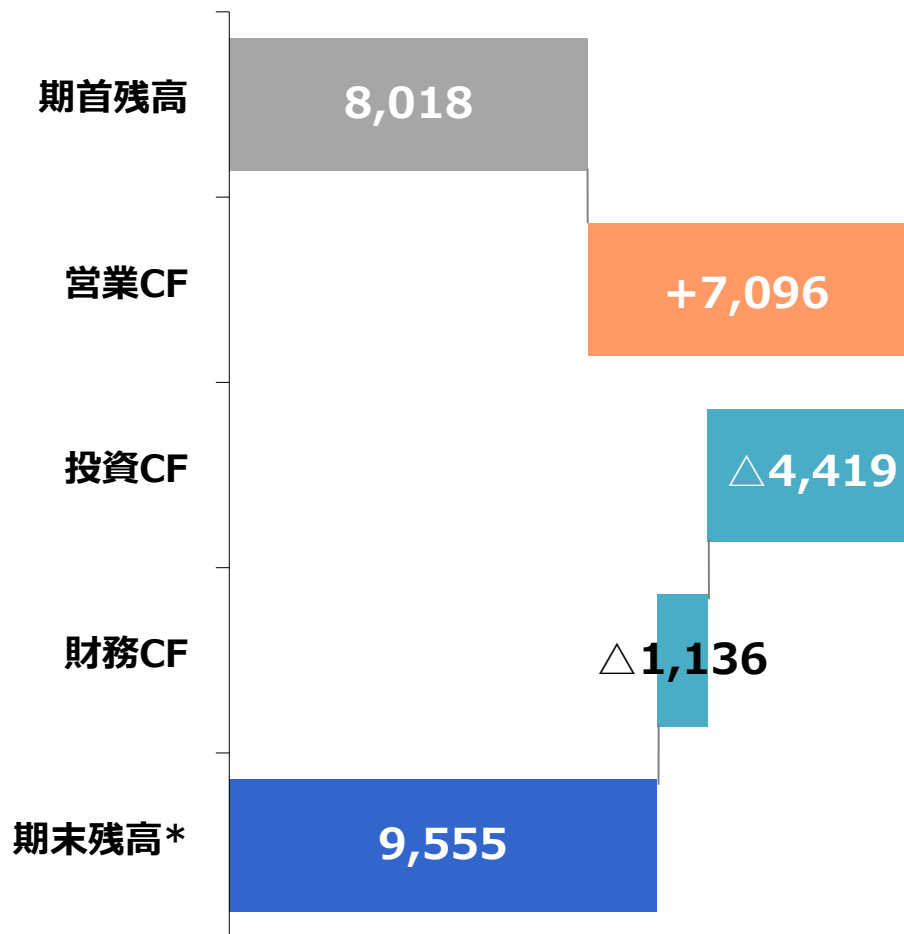
対前期△91百万円

・保険償還価格改定、取扱商品の切替・終了等による過渡期であり利益成長は足踏み



(百万円)

対前期末 +1,536百万円



(百万円)

■ 営業CF

【増加】	・税金等調整前当期純利益	+10,425
	・減価償却費	+1,264
【減少】	・売上債権の増加	△1,598
	・棚卸資産の増加	△1,123
	・法人税等支払額	△3,289

■ 投資CF

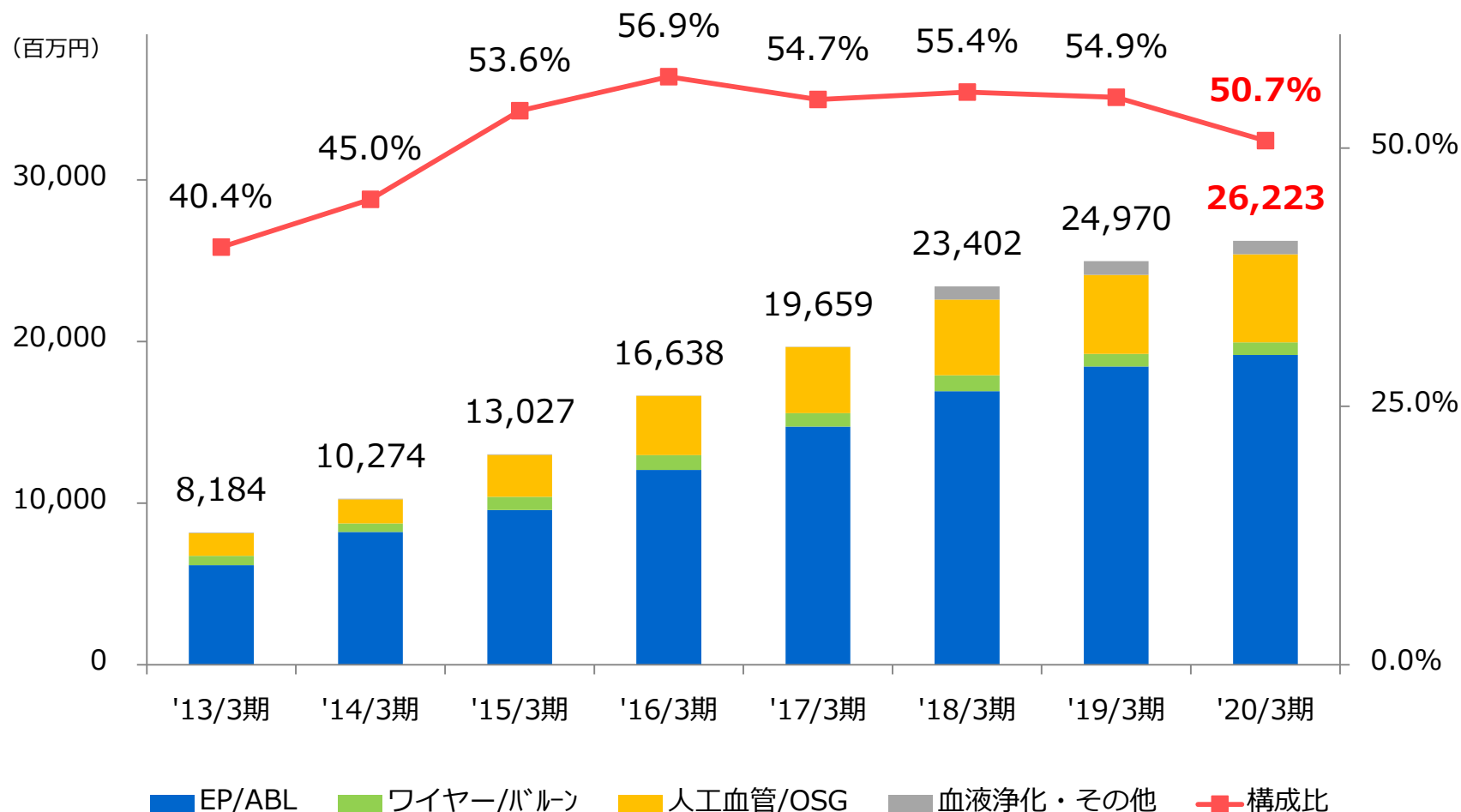
【増加】	・投資有価証券の売却による収入	+1,000
【減少】	・有形固定資産の取得による支出	△2,472
	・短期貸付による支出	△1,005
	・長期貸付による支出	△663

■ 財務CF

【増加】	・長期借入による収入	+2,405
【減少】	・長期借入金の返済による支出	△768
	・配当金の支払額	△2,332

*現金及び現金同等物に係る換算差額 (△4) 含む

- 仕入商品の大幅伸長により、自社製品の売上構成比は低下
- 中期的には自社製品比率は60%程度の水準を目指す



※自社製品は、単体売上高に占める自社グループ製品の比率。'18/3より血液浄化を含める

- ・ マレーシア工場、小山工場第2棟の完成により、工場関連の設備投資は'20/3期で一巡

(百万円)		2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期
設備投資額		1,752	905	3,630	1,248	2,536* ¹
減価償却費		717	753	953	1,176	1,264
研究開発費		933	1,051	1,121	1,431	1,743
期末従業員数	連結	795	829	906	932	1,074* ²
(名)	単体	610	661	814	850	995* ²

*¹ 非連結子会社 JLLマレーシア社分 設備投資額 (約20億円) を含まない

*² 連結・単体従業員数にはBSJ社出向社員含む

(資料) 品目別売上高 (実績 対前期)

(百万円)	2019/3月期		2020/3月期				備考
	通期 実績		通期 実績				
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
ペースメーカー関連	5,169	11.4%	5,682	11.0%	512	9.9%	
ICD関連	496	1.1%	5,960	11.5%	5,464	1101.4%	
その他 *	196	0.4%	223	0.4%	26	13.5%	AED含む
リズムデバイス 計	5,862	12.9%	11,866	22.9%	6,003	102.4%	
EPカテーテル *	17,028	37.4%	17,915	34.6%	887	5.2%	心腔内除細動カテーテル含む
ABLカテーテル *	1,369	3.0%	1,421	2.7%	52	3.8%	内視鏡レーザーアブレーションカテーテル含む
その他 *	4,662	10.2%	5,358	10.4%	695	14.9%	高周波心房中隔穿刺針含む
EP/ABL 計	23,060	50.7%	24,696	47.7%	1,635	7.1%	
人工弁関連	1,448	3.2%	259	0.5%	△1,189	△82.1%	
人工血管関連 *	9,133	20.1%	8,879	17.2%	△253	△2.8%	ステントグラフト (胸部・腹部)、オープンステントグラフト含む
血液浄化関連 *	1,070	2.4%	994	1.9%	△76	△7.1%	
その他	77	0.2%	32	0.1%	△44	△57.5%	人工肺関連含む
外科関連 計	11,730	25.8%	10,166	19.6%	△1,563	△13.3%	
バルーン *	565	1.2%	453	0.9%	△111	△19.7%	
ガイドワイヤー *	403	0.9%	477	0.9%	74	18.5%	
その他 *	3,903	8.6%	4,101	7.9%	197	5.1%	貫通用カテーテル、心房中隔欠損閉鎖器具、大腸ステント、薬剤溶出型冠動脈ステント、子会社販売商品含む
インターベンション 計	4,872	10.7%	5,032	9.7%	160	3.3%	
合計	45,525	100.0%	51,761	100.0%	6,236	13.7%	

※自社製品含む

(資料) 品目別売上高 (実績 対計画)

(百万円)	2020/3月期		2020/3月期				備考
	通期 修正計画		通期 実績				
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
ペースメーカー関連	5,765	11.0%	5,682	11.0%	△83	△1.5%	
ICD関連	6,030	11.5%	5,960	11.5%	△69	△1.2%	
その他 *	315	0.6%	223	0.4%	△92	△29.3%	AED含む
リズムデバイス 計	12,112	23.1%	11,866	22.9%	△246	△2.0%	
EPカテーテル *	18,027	34.4%	17,915	34.6%	△112	△0.6%	心腔内除細動カテーテル含む
ABLカテーテル *	1,530	2.9%	1,421	2.7%	△108	△7.1%	内視鏡レーザーアブレーションカテーテル含む
その他 *	5,380	10.3%	5,358	10.4%	△21	△0.4%	高周波心房中隔穿刺針含む
EP/ABL 計	24,938	47.5%	24,696	47.7%	△242	△1.0%	
人工弁関連	256	0.5%	259	0.5%	3	1.3%	
人工血管関連 *	8,946	17.1%	8,879	17.2%	△66	△0.7%	ステントグラフト (胸部・腹部)、オープンステントグラフト含む
血液浄化関連 *	1,136	2.2%	994	1.9%	△141	△12.5%	
その他	28	0.1%	32	0.1%	4	16.1%	人工肺関連含む
外科関連 計	10,367	19.8%	10,166	19.6%	△200	△1.9%	
バルーン *	498	1.0%	453	0.9%	△44	△8.9%	
ガイドワイヤー *	466	0.9%	477	0.9%	11	2.4%	
その他 *	4,067	7.8%	4,101	7.9%	33	0.8%	貫通用カテーテル、心房中隔欠損閉鎖器具、大腸ステント、薬剤溶出型冠動脈ステント、子会社販売商品含む
インターベンション 計	5,032	9.6%	5,032	9.7%	0	0.0%	
合計	52,450	100.0%	51,761	100.0%	△688	△1.3%	

*自社製品含む

(資料) 連結損益計算書 (実績 対前期)

(百万円)	2019/3月期		2020/3月期			
	通期 実績		通期 実績			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	45,525	100.0%	51,761	100.0%	6,236	13.7%
売上原価	17,703	38.9%	22,570	43.6%	4,866	27.5%
売上総利益	27,822	61.1%	29,191	56.4%	1,369	4.9%
販管費及び一般管理費	17,295	38.0%	18,756	36.2%	1,461	8.4%
営業利益	10,526	23.1%	10,434	20.2%	△ 91	△0.9%
営業外収益	571	1.3%	891	1.7%	320	56.0%
営業外費用	289	0.6%	900	1.7%	611	211.5%
経常利益	10,808	23.7%	10,425	20.1%	△ 382	△3.5%
特別利益	5	0.0%	3	0.0%	△ 1	△30.6%
特別損失	12	0.0%	4	0.0%	△ 8	△66.6%
税引前利益	10,801	23.7%	10,425	20.1%	△ 376	△3.5%
税金費用	3,077	6.8%	2,676	5.2%	△ 400	△13.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,723	17.0%	7,748	15.0%	24	0.3%

(資料) 連結損益計算書 (実績 対計画)

(百万円)	2020/3月期		2020/3月期			
	通期 修正計画		通期 実績			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	52,450	100.0%	51,761	100.0%	△ 688	△1.3%
売上原価	22,857	43.6%	22,570	43.6%	△ 287	△1.3%
売上総利益	29,592	56.4%	29,191	56.4%	△ 401	△1.4%
販管費及び一般管理費	19,030	36.3%	18,756	36.2%	△ 273	△1.4%
営業利益	10,562	20.1%	10,434	20.2%	△ 127	△1.2%
営業外収益	827	1.6%	891	1.7%	64	7.8%
営業外費用	604	1.2%	900	1.7%	295	48.8%
経常利益	10,784	20.6%	10,425	20.1%	△ 358	△3.3%
特別利益	1	0.0%	3	0.0%	2	190.6%
特別損失	1	0.0%	4	0.0%	3	273.1%
税引前利益	10,784	20.6%	10,425	20.1%	△ 359	△3.3%
税金費用	3,109	5.9%	2,676	5.2%	△ 432	△13.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,675	14.6%	7,748	15.0%	73	1.0%

2. 販売状況および今後の見通し

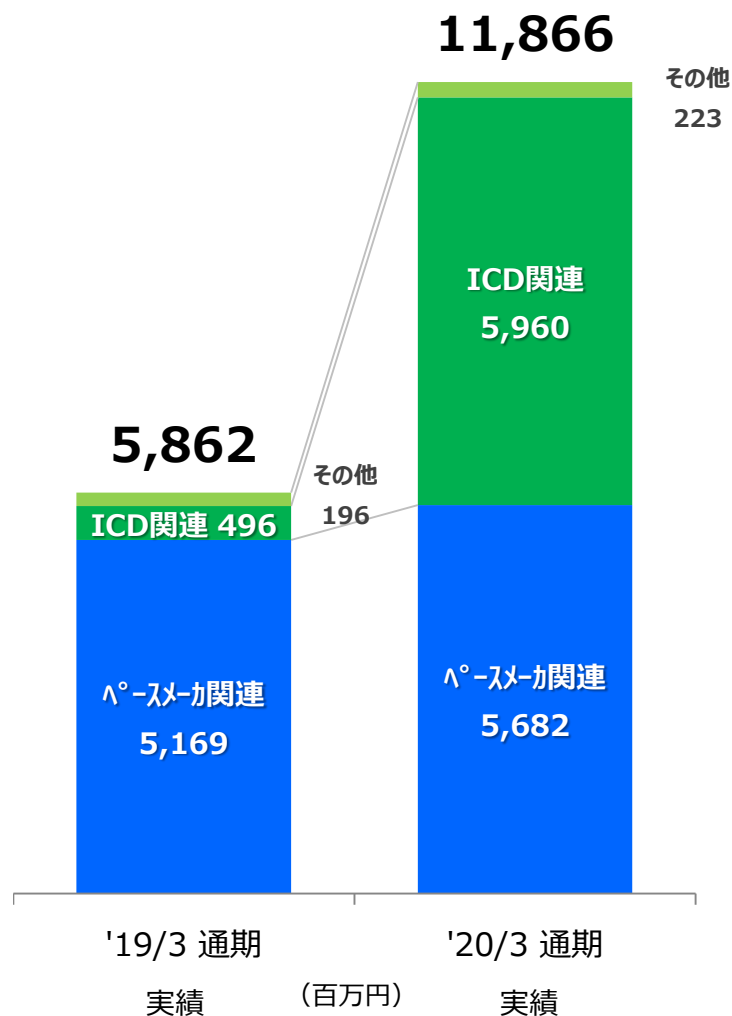
代表取締役社長

鈴木 啓介

リズムデバイス



+102.4%



・ 頻脈治療領域が寄与し売上倍増

- BSC社製CRM商品の独占販売契約
 - ・2019年4月～ S-ICD先行販売
 - ・2019年9月～ 全CRM関連商品

・ ペースメーカ関連は順調に推移

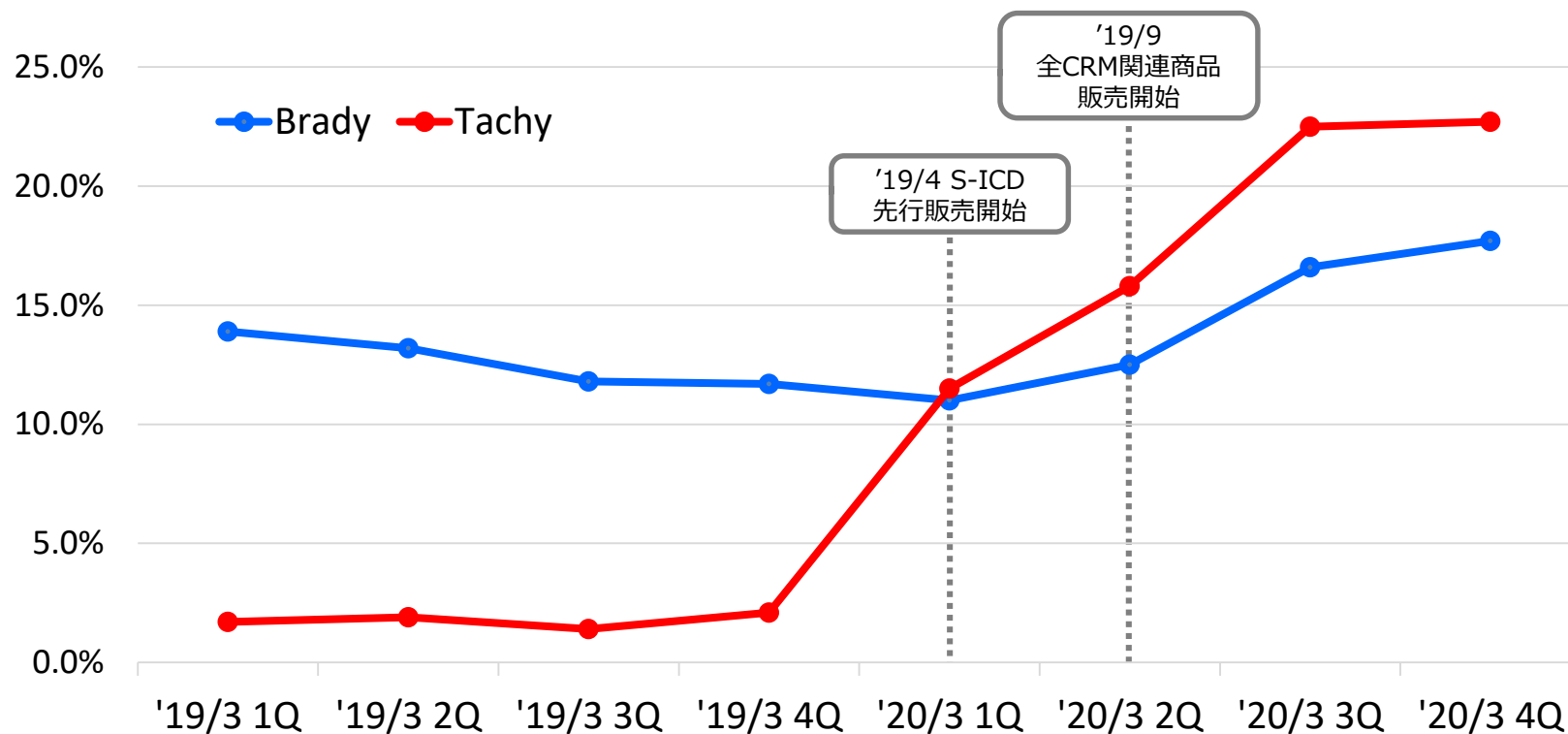
- 販売数量を伸ばし、シェア獲得が進む

・ ICD関連は飛躍的に伸長

- オンリーワン商品S-ICD
- 優れた頻脈治療領域の商品群により徐脈治療中心の構成比から脱却

BSC社製品への切替えが完了

- ・ 頻脈領域は既にトップクラスの市場シェアを獲得
- ・ 徐脈領域でも一層の拡販に努める



※ JADIA資料に基づき自社推計

さらなるシェア拡大を目指す

・ オンリーワン商品をはじめ、全治療領域をカバー

ペースメーカー関連：Brady（徐脈）

Pacemaker
(心臓ペースメーカー)



ACCOLADE



VISIONIST

CRT-P
(両心室ペースメーカー)

ICD関連：Tachy（頻脈）

S-ICD(完全皮下植込み型除細動器)



EMBLEM MRI

オンリーワン商品

ICD
(植込み型除細動器)



RESONATE ICD

CRT-D
(除細動機能付き両心室ペースメーカー)



RESONATE CRT-D

• BSC社独自の診断システム「HeartLogic™」

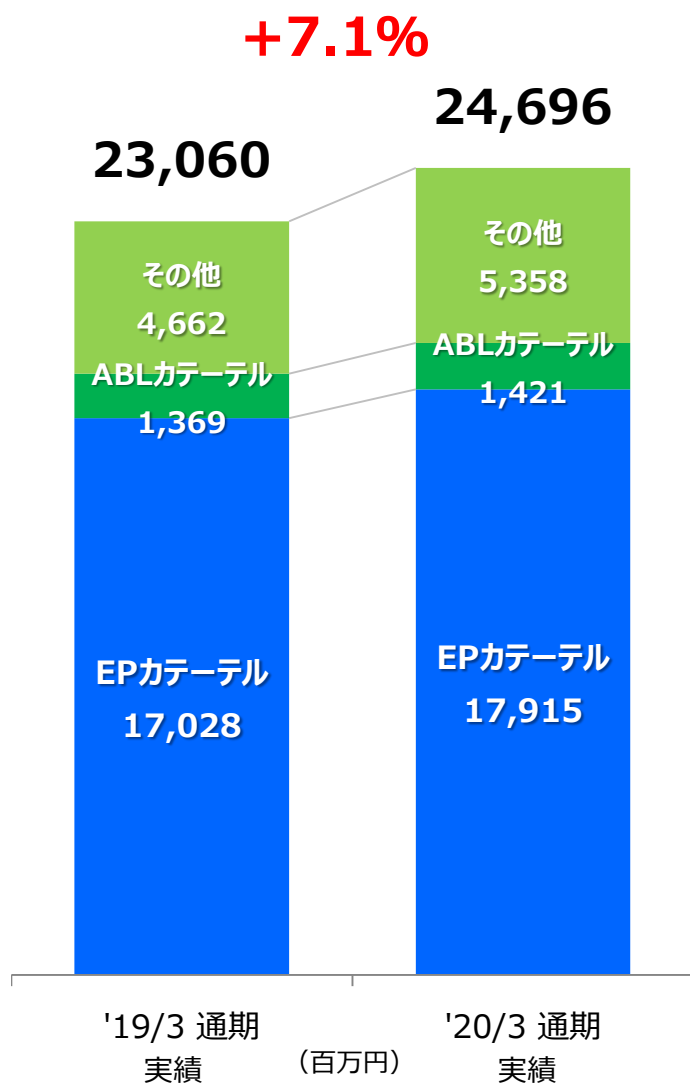
- RESONATE CRT-Dへの機能搭載 (2020年9月 上市予定)
- 心不全の兆候を事前かつ高精度に把握することが可能
 - 34日前に70%の確度 (MultiSENSE Study)
 - 複合指標を採用 (胸郭インピーダンス、呼吸、運動量、心拍数、心音)
- 心不全を未然に検知し、予後悪化の回避に寄与
- 臨床的有効性を評価する試験が進行中



**Tachyの競争力を
さらに高める独自の診断機能に期待**

EP/アブレーション





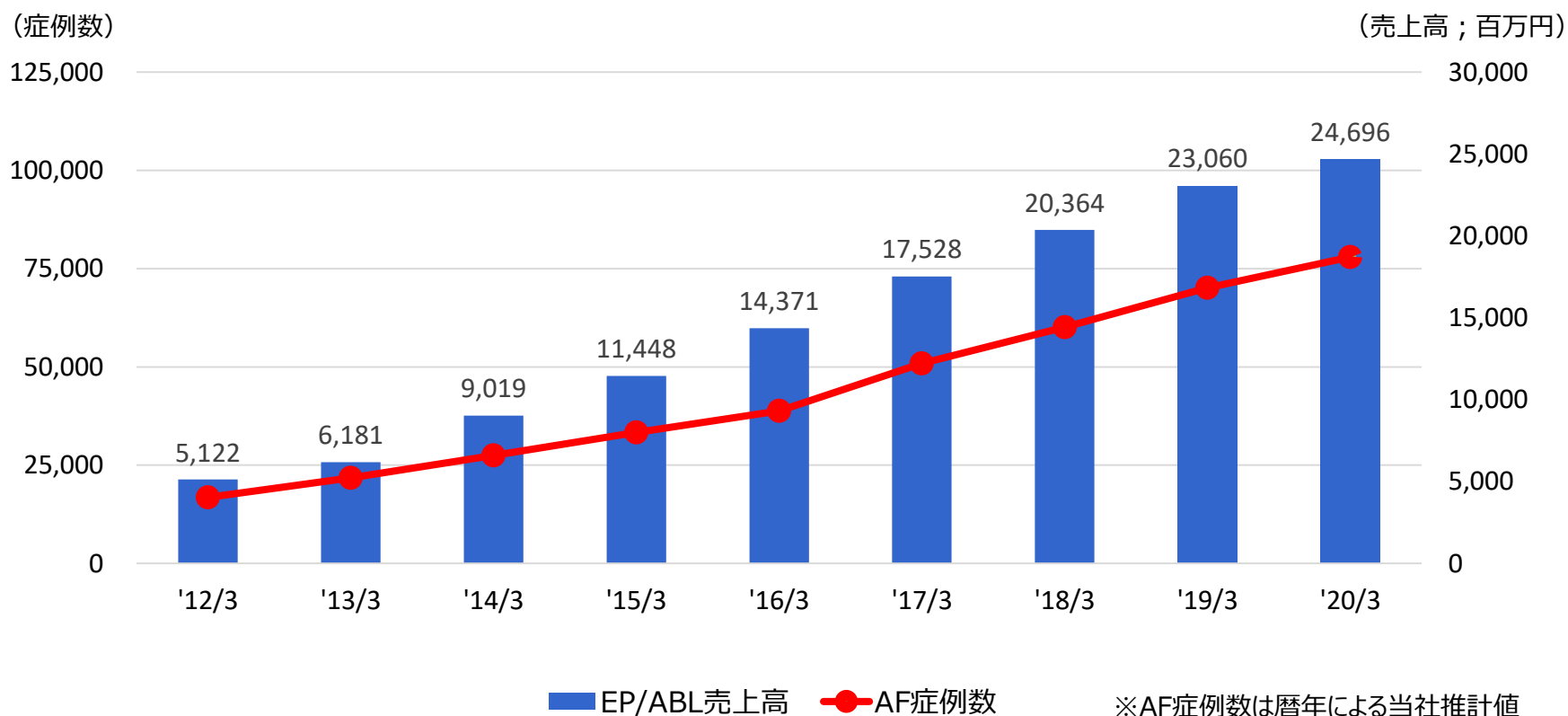
- AF関連商品は安定的に増加
 - BeeAT、RFニードル 対前期約12%増

- 保険償還価格改定の影響
 - EP診断カテ 引下げ幅 約△5%

- HeartLightの販売数量が増加
 - HeartLightの拡販に努める

- 北米輸出を開始
 - 一部モデルの半完成品を出荷

- ・心房細動のアブレーション症例数は二桁増が続く
- ・3月下旬に新型コロナウイルスによる若干の影響あり
- ・潜在患者数は依然として高い水準



心腔内除細動カテーテル（BeeAT）用新型ジェネレータ SHOCK AT α

- 2020年2月上市
- 安全性と利便性がさらに向上
 - 新センシング機構採用による検知精度の向上
 - AC電源の採用による、チャージタイムの短縮化、
電池交換の不要
 - データの記録・読込機能の搭載

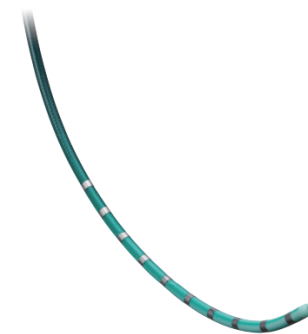


SHOCK AT α (アルファ)

より安全に、より正確に
医療現場のニーズをもとに製品改良を実施

• 自社製EPカテーテルの北米上市

- ベイリス・メディカル社（カナダ）を通じて販売
- 特長のある製品に限定し、ロックダウン方式で輸出
- 初の北米市場への展開



EP Star
6Fr EP ガイドカテーテル

• スティラブルシースの新商品

- 「SureFlex」
- ベイリス・メディカル社製品を国内で販売
- 自社製品「Guidee」と合わせ、ラインナップを拡充
 - スムーズな心房中隔穿刺に寄与
 - 正確な先端操作が可能



スティラブルシース
「SureFlex」

国内販売、海外展開の両面で協力関係を構築

• 内視鏡レーザーアブレーションカテーテル

- 「HeartLight」
- CardioFocus社製
 - 内視鏡で肺静脈を直視しながら焼灼
 - 多様な肺静脈形状へ適合
 - 良好な長期成績を期待
- 新規施設の開拓に注力
- 専用ウェブサイトによる認知度向上を図る



内視鏡レーザーアブレーションシステム
「HeartLight」
左：カテーテル 右：コンソール

• 次世代品の早期導入

- 手技時間の大幅短縮が可能「X3」
- '22/3期の上市を目指し、準備を進める



心房細動ナビ
<https://www.shinbousaidou-navi.com/>

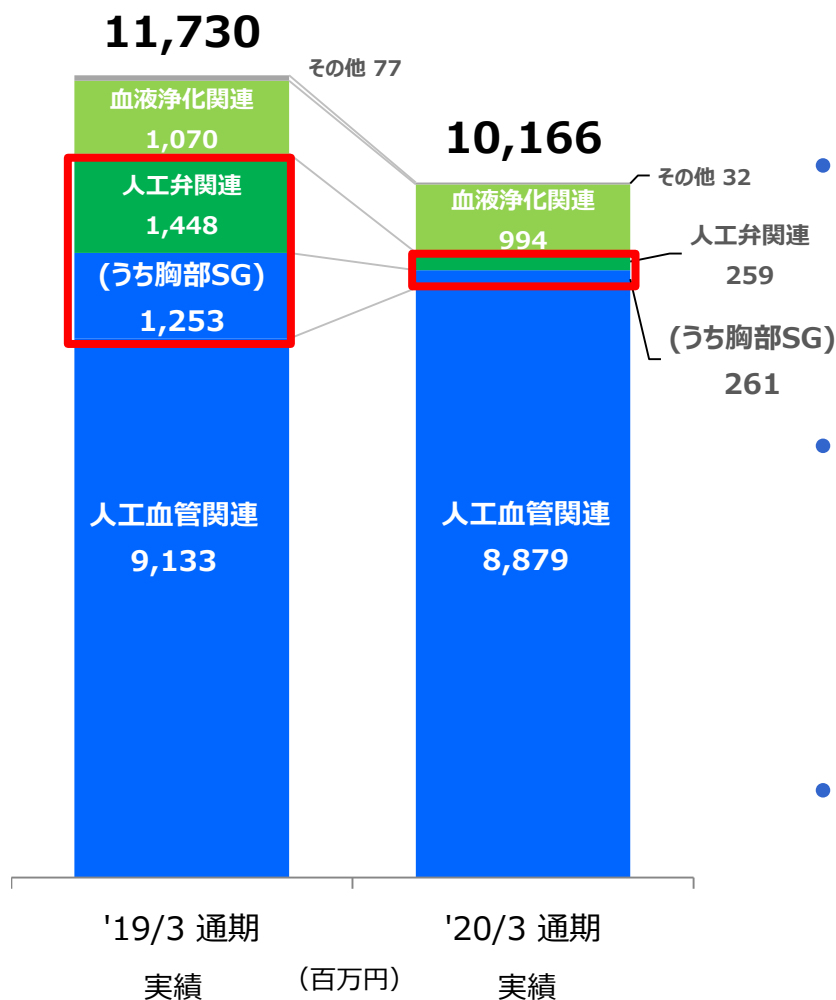
次世代品導入を控え、治療領域の強化を図る

外科関連



△13.3%

(内の販売終了品を除く+6.8%)



一部商品の販売を終了

- 人工弁、胸部用ステントグラフト
- 売上高の減少 △2,181百万円

オープンステントグラフト

- オンリーワン製品 FROZENIX
- 引き続き二桁増

人工血管

- 腹部用製品の拡販が奏功
- 4分枝人工血管がオープンステントグラフトと併用され増加

腹部用ステントグラフト

- 臨床実績の蓄積により一層のシェアを拡大を目指す

・ オープンステントグラフトのCEマークを取得

- FROZENIX
- 2020年3月 CEマークを取得
- 日本国内での豊富な臨床実績
- 欧州販売代理店と交渉中
- 2017年の台湾進出に続き、販路の拡大を図る

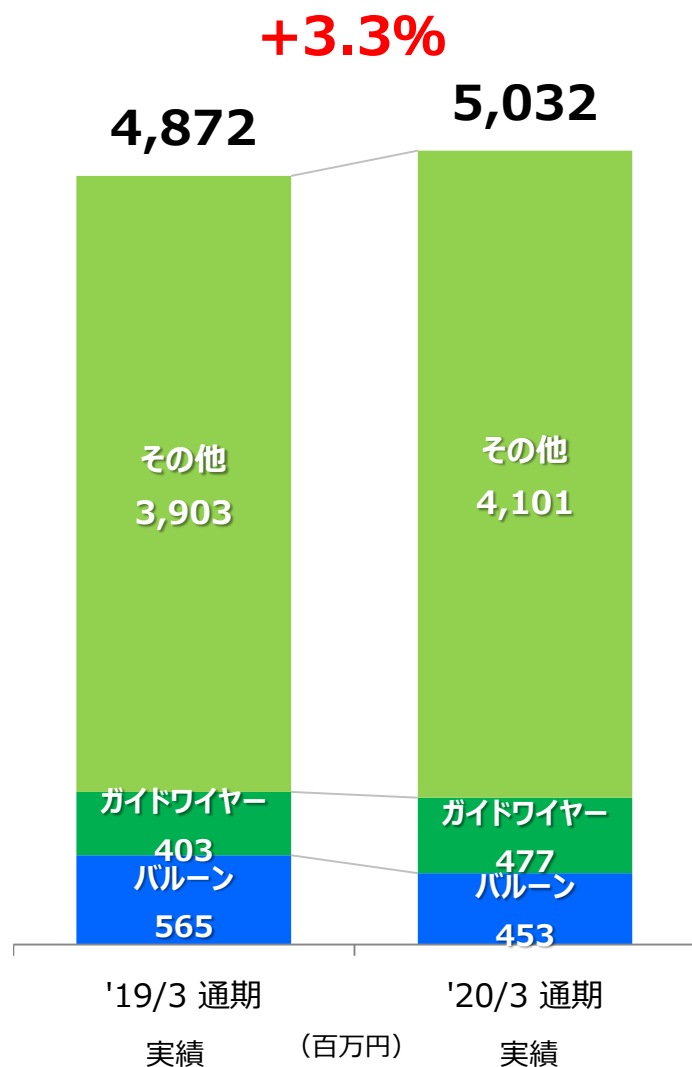


オープンステントグラフト
「FROZENIX」

**外科関連においても自社製品の
海外展開に向けた取組みを進める**

インターベンション





● 薬剤溶出型冠動脈ステント

- 販売数量が増加
- 保険償還価格改定により売上高は微増 (引下げ幅 △10.4%)

● 競合製品の影響により減少

- 貫通用カテーテル
- バルーンカテーテル

● ガイドワイヤーは新商品が寄与

- 「Amati」の好調により、売上高が増加

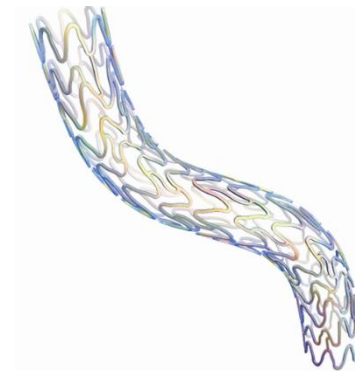
● 肝癌治療領域への参入

- 新製品「arfa」12月フルリリース

• Orsiroが引き続き伸長

- BIOSTEMI試験にて競合製品に対する臨床上の優越性が認められる
- 優れた性能を訴求し、さらなる拡販に努める
- 国内でも臨床試験CASTLE Study*を実施

* Randomized Comparison "All-Comers" Study of Ultra Thin-Strut and Thin Strut Drug-ELuting Stents



薬剤溶出型冠動脈ステント
「Orsiro」

• ガイドワイヤーは新製品が寄与

- ガイドワイヤー「Amati」
- 優れたトルク性能、良好な血管追従性能
- 先端レスコート加工による安定性・安全性



PTCAガイドワイヤー
「AMATI」

厳しい競争環境の中、販売数量を伸ばす

・ 肝臓治療用ラジオ波焼灼システム「arfa」

- 自社製品であり、唯一の国産製品
- 肝臓を経皮的に焼灼し治療
- 2019年12月上市、採用施設の拡大を図る
- 高周波アブレーション焼灼技術を応用し開発
 - 焼灼中に組織の温度を計測可能
 - 高い操作性を実現



「arfa」アクティブ電極



「arfa」ジェネレータ

新領域として消化器領域を開拓

3. 新型コロナウイルスによる影響について

全社的に感染防止に向けた対策を実施

営業拠点

- 施設への訪問を最小限に抑制
- 商品の物流・供給体制は平常通り確保

勤務体制

- リモートワークの徹底、時差出勤の推奨

感染予防

- 手洗い・うがい・マスク着用の徹底
- 社内外の会議等集会の制限・Web会議利用の推奨
- 顧客との会食、会合の原則禁止

移動制限

- 事業所間の往来禁止
- 国内外出張の原則禁止

現時点での供給面における影響はなし

国内工場（戸田、市原、小山）

- 通常通りの操業を継続

海外工場（深圳、マレーシア）

- 中国深圳工場は、一時的に操業を停止も2/17より再開。現在はほぼ通常通りの生産
- マレーシア工場は、活動制限令の影響あり、但し量産に向けた準備段階のため、製品供給に与える影響はなし

製造委託先（フィリピン、マレーシア）

- ロックダウン等により操業度が低下、一定の製品在庫は保有
- 在庫水準の低い一部製品は、一時的に国内での代替生産を開始

商品仕入先（国内・海外）

- 国内在庫は一定水準を確保
- 今後も供給の確保に努める

医療施設での手術延期等により症例数は減少

3/下旬 一部施設での症例は減少も全社的影響は限定的

4/7 政府による緊急事態宣言

4/月上旬 循環器関連の主要学会からの提言

- ・ 医療崩壊を防ぎながら緊急性の高い症例の治療体制を確保
- ・ 待機的症例に対する手術の延期

4月販売実績は、前年同月比△1.0%

－ 新型コロナウイルスによる影響は約△13%程度と推測

品目区分	2020/4 売上高 (百万円)	新型コロナウイルスによる影響度 (推測値)	状 況
リズムデバイス	1,109	約△12%	<ul style="list-style-type: none"> ・交換症例を中心に減少 ・訪問規制がS-ICDの新規開拓に影響
EP/アブレーション	1,877	約△16%	<ul style="list-style-type: none"> ・待機症例が中心、手術延期による症例減少 ・HeartLightのプロクタリングに影響
外科関連	761	約△2%	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急症例を中心に症例は継続的に実施 ・待機的症例は延期
インターベンション	313	約△27%	<ul style="list-style-type: none"> ・待機的PCI症例を中心に症例数は減少 ・薬物治療による一時的対応
合 計	4,061	約△13%	

売上への影響

- ・ 4月は約13%減の影響と推測。5月はさらに影響の拡大を見込む
- ・ 減少のピークは5月となる可能性が高いものの、長期的な影響は不透明

販管費のマイナスも発生

- ・ 主要学会の延期、営業活動の縮小など、関連費用の減少が見込まれる

固定費用

- ・ BSJ関連費用は、対前期で約5億円の増加を見込む

不透明な要素が多く、業績予想は未定
影響を見極めた上で、1Q決算後の公表を想定

2021年3月期末配当予想は未定

- 業績予想を発表できる状況となり次第、公表する予定

当社の配当政策は、安定配当が基本方針

現在の配当水準の確保を目指す

進行期の状況を見極め、第2四半期決算後に更新予定

中期的ハイライト

- BSJ社との長期契約により、不整脈治療領域の事業基盤が整う
- EPはAF症例の増加が続く、新商品の投入により成長を図る
- 海外展開、新領域の開拓が進む、自社製品比率向上を目指す
- マレーシア、小山ファクトリー第2棟が完成し、生産体制の拡充が完了

医療機器に対する需要は底堅く

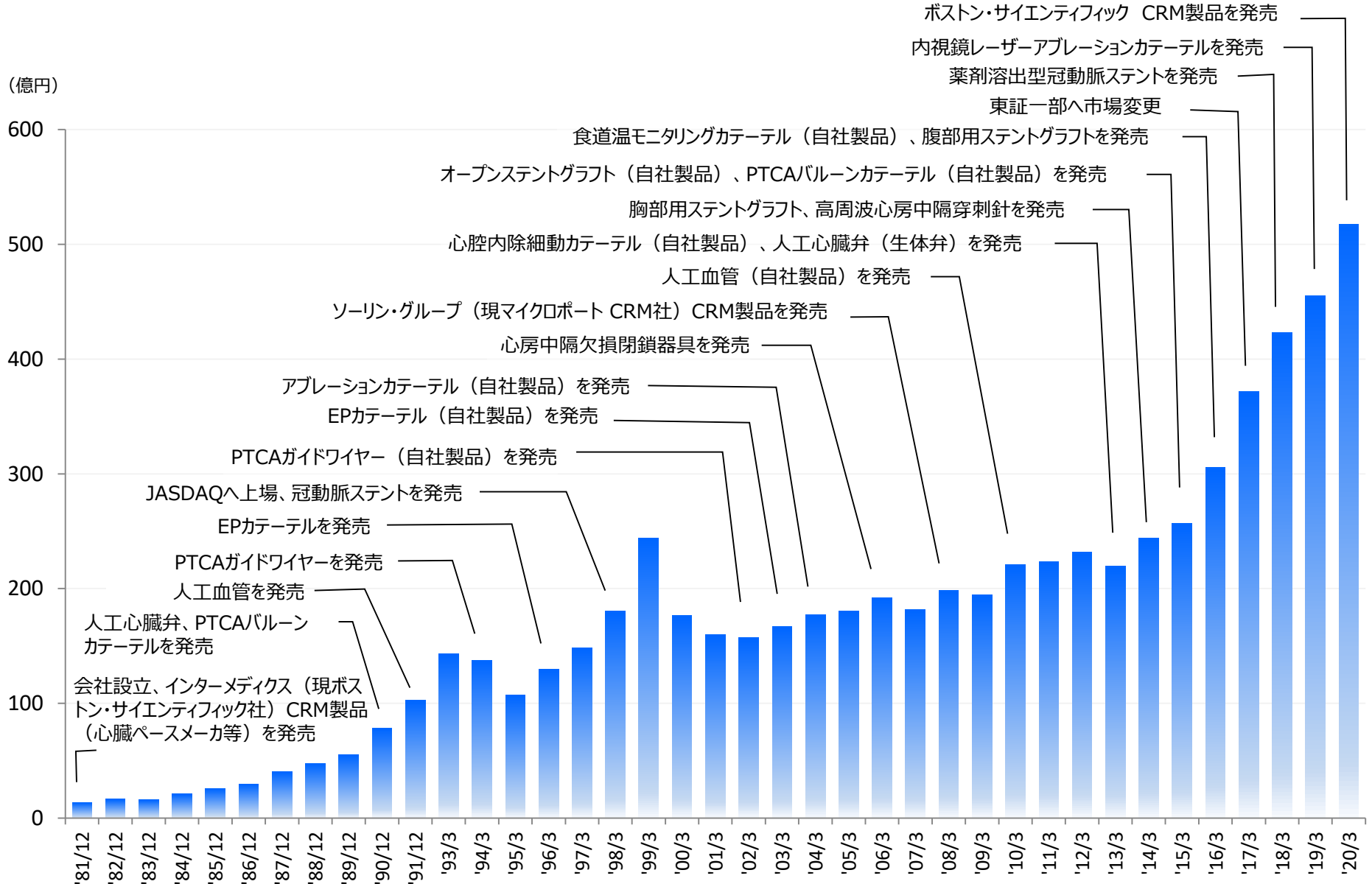
引き続き、成長に向けた取り組みを推し進める

会社概要



商号	日本ライフライン株式会社
代表者	代表取締役社長 鈴木啓介
本社	東京都品川区東品川2-2-20 天王洲オーシャンスクエア
設立	1981年2月6日
株式	東証一部上場
証券コード	7575
事業内容	医療用機器の製造、販売、輸出および輸入販売
資本金	2,115百万円
従業員数	連結1,074名/単体995名（2020年3月31日 現在）
事業所	営業拠点47ヶ所、羽田ロジスティクスセンター、関西ロジスティクスセンター、リサーチセンター、戸田ファクトリー、小山ファクトリー、市原ファクトリー、天王洲ACCADEMIA（研修センター） （2020年3月31日 現在）
連結子会社	SYNEXMED（HONG KONG）LTD.、心宜医療器械（深圳）有限公司

当社沿革と売上高推移



当社は創業以来、不整脈や心筋梗塞等の心疾患を治療するための医療器具を扱っており、事業領域はリズムデバイス、EP/アブレーション、外科関連、インターベンションの4つに大別されます。

リズムデバイス

不整脈（心臓の拍動が正常よりも遅くなる、または早くなる状態）を治療する、主に体内植込み型の器具を扱います。

リズムデバイス

心臓ペースメーカー
ICD
CRT-P
CRT-D
AED

外科関連

本来の機能が失われてしまった血管を、外科手術により人工の器官に置き換え、治療するための器具を扱います。

EP/アブレーション

EPカテーテル
アブレーションカテーテル
心腔内除細動カテーテル
高周波心房中隔穿刺針
内視鏡レーザーアブレーションカテーテル

心臓循環器

外科関連

人工血管
オープンステントグラフト
ステントグラフト
血液浄化関連

EP/アブレーション

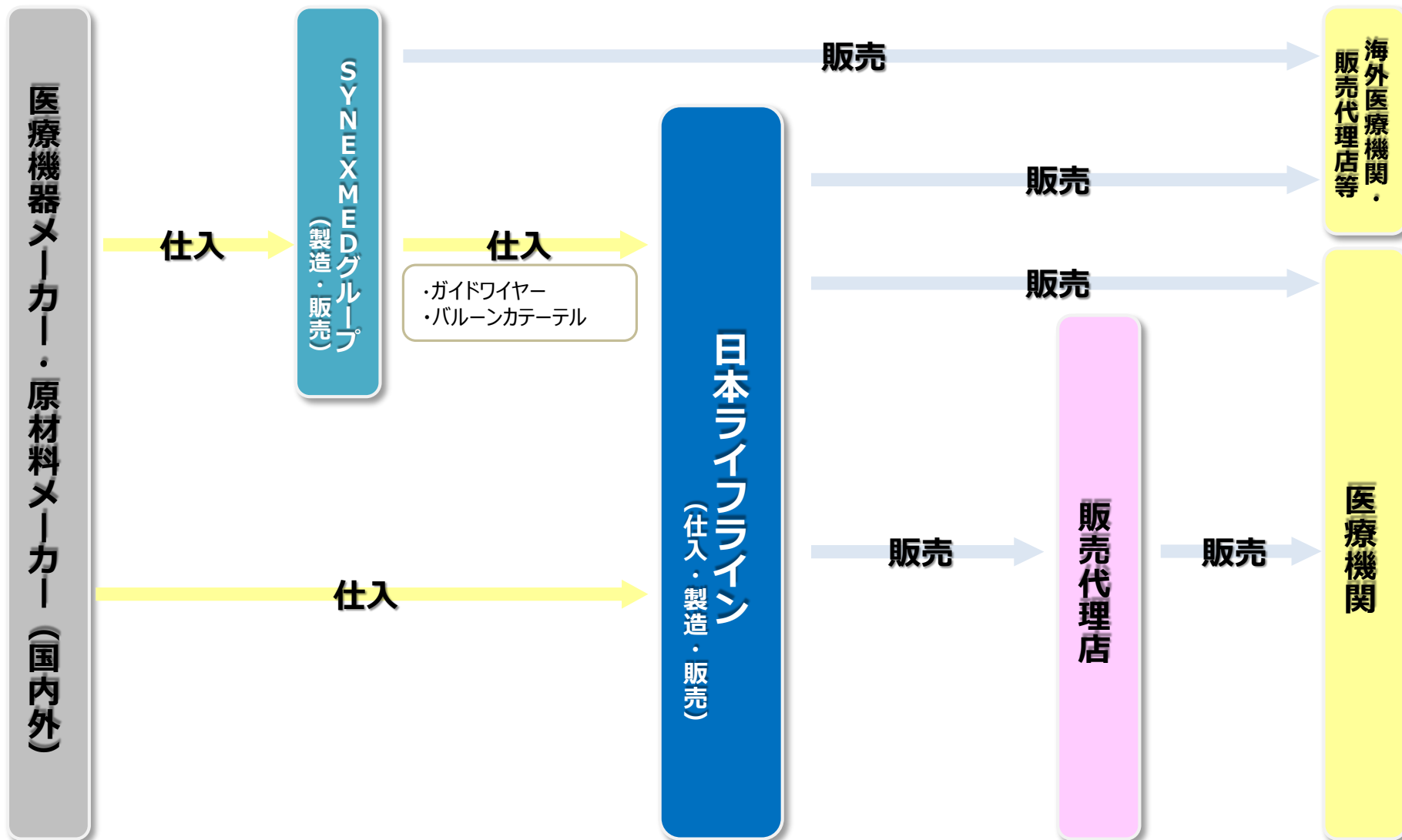
不整脈の検査や治療を行うための、ディスプレイ式電極のついたカテーテル（細い管）を扱います。

インターベンション

ガイドワイヤー
バルーンカテーテル
心房中隔欠損閉鎖器具
薬剤溶出型冠動脈ステント

インターベンション

カテーテル（細い管）を皮膚を通して血管に挿入し、心筋梗塞等の治療を行う器具を扱います。外科手術に比べ、患者様への負担が小さい治療法です。



心臓ペースメーカ

(Boston Scientific社製)



心臓の拍動が正常よりも遅くなる不整脈（徐脈）に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保ちます。

心臓の拍動が異常に早まる不整脈（頻脈）のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。

ICD（植込み型除細動器）

(Boston Scientific社製)



CRT-P（両心室心臓ペースメーカ）

(Boston Scientific社製)



重症心不全に対して、心臓の左右両方の心室に電気刺激を与えることで、心臓の同期不全を整えポンプ機能を改善します。

S-ICD（完全皮下植込み型除細動器）

(Boston Scientific社製)



従来のICDは静脈を介し心臓内にリードを留置するのに対し、S-ICDは全てのシステムを皮下に植込むことで血管内や心臓へ異物が留置されません。

CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカ）

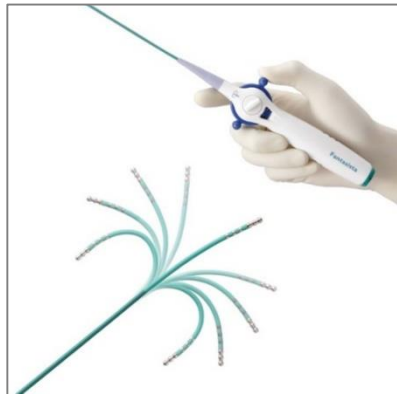
(Boston Scientific社製)



両心室心臓ペースメーカの機能に加え除細動機能も有しており、致死性の不整脈の発生時は、本体から電気刺激を心臓内に与え治療を行います。

アブレーションカテーテル

(自社製品)



頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流で焼き切ることで治療します。

不整脈の診断や治療方法の適応を判断するための検査に用いられます。カテーテル先端に電極がついており、心臓内の電位を測定したり、不整脈を誘発させることで原因を特定します。

EP（電気生理用）カテーテル

(自社製品)



心腔内除細動カテーテル

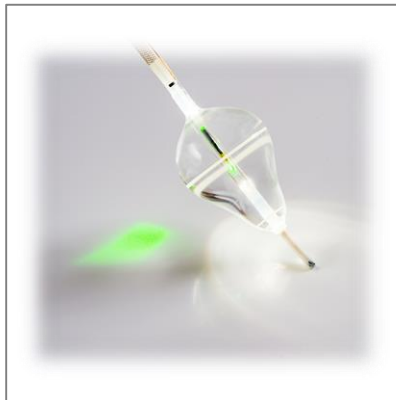
(自社製品)



アブレーション治療の際に発生する心房細動に対し、心腔内で除細動を行うことにより、低侵襲に心房細動を停止させます。またEPカテーテルとしての診断機能も合わせ持っています。

内視鏡レーザーアブレーションカテーテル

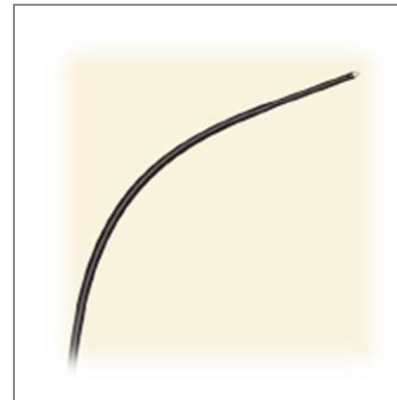
(CardioFocus社製)



バルーン内部からレーザーを照射し、頻脈の原因となる部位を焼き切り治療します。カテーテル内部の内視鏡により、正確な留置および焼灼が可能です。

高周波心房中隔穿刺針

(BAYLIS MEDICAL社製)



アブレーション治療などの際に、左右の心房の間にある壁（心房中隔）に、カテーテルを通すための穴を高周波により開ける際に使用します。

人工血管

(自社製品)



開胸手術により動脈瘤などで痛んだ血管を切り取り、人工血管に置き換え治療します。

大動脈に挿入し拡張することにより血管に固定します。片側の吻合が不要なため、開胸手術を行うものの低侵襲に大動脈瘤の治療を行います。

オープンステントグラフト

(自社製品)



ステントグラフト

(ENDOLOGIX社製)



外科手術を行うことなく、足の付け根の血管からカテーテルを通じて、治療部位に留置し大動脈瘤を治療します。

急性血液浄化療法に用いられる医療機器であり、血液から有毒な物質などを除去することで治療します。

血液浄化装置

(自社製品)



バルーンカテーテル

(自社製品)



心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管（冠動脈）が詰まることが原因となる心筋梗塞や狭心症の治療に用いられます。血管の詰まった部分で風船（バルーン）を拡張させ、再度血流を確保します。

バルーンカテーテルを血管の詰まった部分に導くために用いられます。ガイドワイヤーを血管の詰まった部分の先まで通過させ、これに沿ってバルーンカテーテルを進めます。

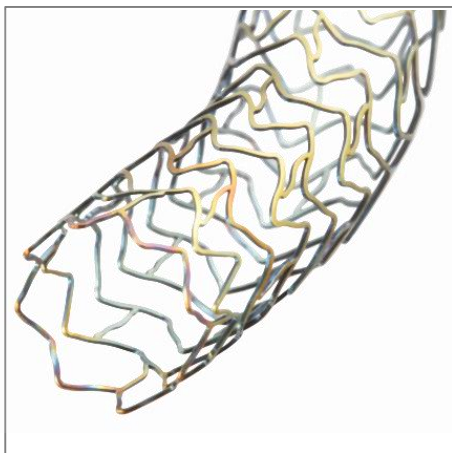
ガイドワイヤー

(自社製品)



薬剤溶出型冠動脈ステント

(BIOTRONIK社製)



血管の詰まった部分を風船（バルーン）で拡張させた後に留置し、再び詰まるのを防ぎます。また塗布された薬剤も再発防止に効果があります。

先天的に心臓の左右の心房を隔てる壁に穴が開いている疾患（心房中隔欠損症）を、外科手術を行うことなくカテーテルを用いて閉鎖栓という円盤状の器具で塞ぎ治療します。

心房中隔欠損閉鎖器具

(Occlutech Holding AG社製)



研究開発

リサーチセンター (埼玉県戸田市)



(2018/04~)

中核工場

戸田ファクトリー (埼玉県戸田市)



(2012/01~)

量産対応

小山ファクトリー (栃木県小山市)



(2014/10~)

血管・OSGの開発・生産

市原ファクトリー (千葉県市原市)



(2011/01~)

海外工場 ①

シンセン工場 (中国深圳市)
心宜医療器械(深圳)有限公司



(2010/10~)

海外工場 ②

マレーシア工場 (マレーシアパナン州)
JLL Malaysia



(2020/07~ 予定)

ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、当社の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品の導入に係る、治験および薬事承認に係る事項、また発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社
経営戦略室
TEL:03-6711-5214
E-Mail:ir@jll.co.jp
URL:<https://www.jll.co.jp>